

平成31年度 櫛形北小学校 グランドデザイン

学校教育目標 「ゆたかな心もち たくましく生きる」
めざす児童像 自ら学ぶ子ども（知）
 思いやりのある子ども（徳）
 ねばり強い子ども（体）
 地域を大切にする子ども（連携）

めざす学校像
 ◇明るく活力のある学校
 ・明るく落ち着いた学校
 ・学び合い高め合う学校
 ・安心・安全な学校
 ・地域に開かれ、文化のよりどころとなる学校

教育の重点

<p>確かな学力の育成と向上に努める 基礎的・基本的な知識や技能の習得、それらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力などの能力を育むこと、また、主体的に学習に取り組む態度を養うことなどを旨とする。 ○やまなしスタンダードに則った授業をおこなう。 ○「主体的・対話的で深い学び」をつくりだす。 ○わかる授業づくりに努め、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図る。 ○一人一人の学習状況をよく把握し、個に応じた指導方法を工夫する。 ○放課後学習教室の取組を継続し、学習の定着を図ると共に、学習に対する自主性を育てる。 ○家庭学習や読書活動を通して、学習習慣の定着を図る。 ○言語活動の充実を図る。</p>	<p>豊かな心を育む教育の充実と、生徒指導の充実に努める ○道徳の授業の充実を図り、児童の道徳的実践力を育成する。（小笠原流礼法の実践） ○Q-U検査等を活用し、確かな児童理解、望ましい人間関係づくりに努める。 ○いじめ・不登校へのきめ細かな対応と、教育相談活動の充実を図る。（いじめ対策委員会） ○職員間での情報交換を密にして、組織的な生徒指導に努める。（ケース会議、SCやSSWの活用）</p>
<p>健康教育・安全教育の充実と体力の向上に努める ○基本的生活習慣の確立を図り、自己管理能力の育成に努める。 ○学校教育全体を通して、食に関する教育の充実を図る。 ○交通安全教室、防災訓練・防犯訓練などを通して、自分の身は自分で守り、安全な生活ができる実践力を育てる。 ○体育授業、体育的行事等の充実を通して、体力の向上に努める。</p>	<p>特別支援教育体制の整備とその推進に努める ○コーディネーターを中心に、全職員の協力体制と共通理解を図り、校内支援体制の整備ときめ細かな指導にあたる。 ○一人一人の教育ニーズに基づいた個別指導計画を作成し、指導内容・方法の工夫に努める。 ○保護者・関係機関・特別支援学校との連携を図り、効果的な支援を図る。</p>
<p>地域に根ざした学校づくりを進める ○地域の学習材の発掘と地域の人材を生かした教育力の活用を図る。 ○小中一貫教育の観点から、櫛形中学校および櫛形地区の小学校との連携を推進する。 ○保育所・園との連携を推進する。</p>	<p>食育・福祉・環境・情報・国際理解・キャリア教育の推進 ○食育により、健全な食生活を実践することができる人づくりを進める。 ○福祉・環境・国際理解教育により、共生の心や豊かな人間性を育む。 ○情報教育により、情報リテラシーやネットマナーを向上させる。 ○キャリア教育により、望ましい人間関係を育てながら、自らの特性に気づき、夢や希望、目標をもって生きようとする意欲と態度を育成。</p>

<p>めざす教師像 ◇温かく子どもと学ぶ教職員 ・認め合い励まし合い、協働する教職員 ・よく気づき、率先垂範する教職員 ・専門性を身に付け、子どもと学ぶ教職員 ・温かく、誰からも信頼される教職員 ・子ども・保護者・地域を大切にする教職員</p>	<p>教師としての自覚を持ち、日々自己研鑽に励み、組織的・積極的に教育活動を行う ○本校の教育課題を的確に判断し、全職員による共通課題として共通理解を図り、組織的に取り組む。 ○校内研究は、児童の学力向上などを旨とするだけでなく、教師自身の資質の向上とすることを理解し、積極的に取り組む。 ○言われたこと（与えられた仕事）をしているだけでなく、よりよいと思うことを率先してやっという気構えで、職務に当たる。（→子どものために、同僚のために、自分は何ができるか。） ○職員の和を大切に。服務規律を確保する。</p>
---	---

環境整備
 ・子どもたちに安らぎと落ち着きの場の設定
 ・学校の環境衛生、安全管理、保健管理の徹底
 ・防火・防災管理、防犯管理、危機管理の徹底
 ・時期に応じた環境整備作業
 ・師弟同行による環境美化・節水節電

家庭との連携
 ・PTA 活動の推進
 ・学校、学年・学級、保健、給食、図書だよりの発行
 ・家庭訪問、個別懇談の実施
 ・ホームページの更新

地域との連携
 ・学校開放日の設定。学校行事への招待
 ・学校評議員、学校関係者評価委員、民生委員等との連携
 ・各種関係団体との連携